



会話を始める

自分自身や大切な人々が、山火事、ハリケーン、洪水、地震などの災害に備えることが重要です。

災害がいつ発生するかわからないかもしれませんが、家族の安全を守るために、今すぐ簡単かつ効果的な対策を始めることができます。次の5つのステップに従って、会話を始め、備える旅を始めましょう。

1. 意図を考える

自分や家族が災害に備えるために何をすべきか話し合うのは簡単なことではありませんが、命を守るためには必要です。難しい話題で、話すのに完璧なタイミングはないかもしれませんが、緊急事態の真っ只中にある前に話す方が簡単です。正直で直接的な会話が、あなたや大切な人々の命を救うことができます。



2. あなたの地域で発生する可能性がある災害を把握する

住んでいる地域でどのような災害が発生する可能性があるかを知ることは、安全に過ごすために何が必要かを理解するのに役立ちます。洪水や火災のような災害はどこでも発生する可能性があります。ハリケーンや地震は特定の地域でより一般的です。新しい地域に引っ越した場合は、地域の人々に話しかけ、これまでどのような災害が発生したのか、また今後どのような災害が予想されるのかを確認しましょう。



3. 会話に誰を参加させるかを考える

個人の状況によって備え方は異なるかもしれません。会話を始める前に、誰を参加させたいかを考えてみましょう。これには、同居している家族、高齢の親族、地域のメンバー、隣人、友人が含まれる場合があります。彼らは備えがどのように影響するかを教えてください。

4. 会話をする

難しい話題を話し合うことは、あなたや家族、友人に安心感を与えることができます。彼らの安全を心配していることを強調し、会話をできるだけ前向きに保ちましょう。あなたの地域で発生する可能性がある災害についての事実を伝えましょう。近所の人に、あなたや家族が実践できるアドバイスを教えてもらいましょう。もし彼らがまだ備えの準備を始めていないなら、情報を共有してもらい、彼らも始められるようにしましょう。



5. 一緒に行動する

少なくとも一つ、災害に備えるステップを考えてみましょう。例としては次のものが挙げられます。

地域の緊急警報にサインアップし、州や地元を自治体からの命を守る情報を受け取る。

重要な電話番号を、携帯電話だけでなく他の場所にも保存しておく。

さらなる備えのための行動については、[Ready.gov/start](https://www.ready.gov/start) にアクセスしてください。



FEMA

